

The message from

Y. Kazuki

Museum of Misumi

～美術館からのメッセージ～

日本中に広報される!!

= 画家 香月泰男 =

新年は美術館へ!! (1月3日から開館します。)

俳優 緒形 拳が来館

香月美術館の館名文字を書いてもらった俳優・緒形拳さんが12月17日(日)、夫婦で来館されました。



緒形さんは香月画伯の大ファンでコレクターでもあり、館名を書いてもらった縁で2年前の開館式に招待していましたが都合でこられず、今回の来館となりました。

以前から「一度、画伯の愛したふるさとと、そこにある作品を見てみたい」との想いがあり、わずかな滞在でしたが、作品の一つ一つ

を食い入るように見て「来てよかった。自然にマッチした最高の美術館ですね。近いうちに泊りがけで、又来ます。」と語り、京都へ向われました。



12月3日(日)、毎日新聞と読売新聞の日刊紙に香月画伯が紹介されました。
これは、山口県が進めている人口定住「住みたくなる」ふるさと山口の創造」事業の一環で、山口県の宣伝と山口県のイメージ(一言で)募集を行ったものです。
内容は、香月美術館が所蔵する石版画「てんとう虫」をメインに置き、戦争中は夢にまで見た「山口・三隅」を愛したことやプロフィールなどの説明が書かれてありました。
両新聞は、山口県を除く全国版で掲載され、1400万部配布されました。

講演会の案内

「香月泰男のシベリヤ」

講師 立花 隆

鋭い論理と未来を見据える確かな目で、わが国を代表するジャーナリストとして知られる立花隆氏は、早くから香月泰男の研究者であり、生前の画家を直接取材して「私のシベリア」を纏めています。

今回の講演会では、昨春の極寒シベリアの記録番組、NHKスペシャルでの体験を交えて、香月泰男のシベリアの意味を語られます。

とき 平成8年1月4日

14時～16時

ところ 下関市民館

主催 下関市立美術館

友の会他3団体

協力 山口県立美術館

香月美術館

問合せ 下関市立美術館

(0832)4514131

立花 隆氏略歴

1940年長崎生れ。

東大仏文科、哲学科卒。

「田中角栄研究」「ロッキード裁判傍聴記」「臨死体験」

など著書多数。

第一回講演社ノンフィクション賞や菊地寛賞など数多くの賞を受賞。